

山形県高畠町とは

人口 約21,000人

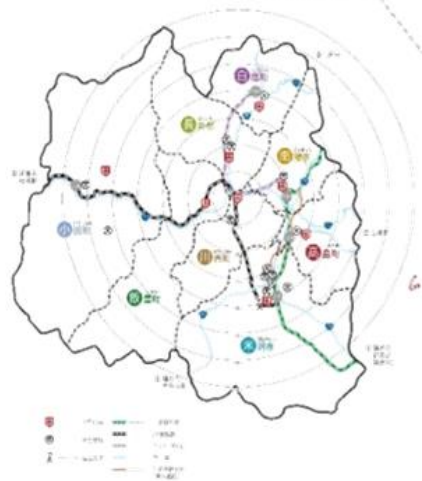
東京駅から新幹線で2時間15分

1973年、近代農業が推奨される時代に地域環境を大切にするため高畠町有機農業研究会を地域の若手農業者が立ち上げた。**有機農業**の分野では全国でも注目を集め、現在も有機農業水稻栽培面積は山形県内でトップを牽引し続けている。

また、県内でも**食品加工業**が特出している地域であり、ジャムや Dressing、ワイン、日本酒などが製造され、全国の百貨店等でも人気のあるものが多い。ここ数年、JR東日本と連携し、海外への販路拡大（輸出）とインバウンド拡大に挑戦している。

近年、町の次世代リーダーを育てる**人財育成事業**が始まり、県外から住所を異動せずに地域内の学校に転入できる**デュアルスクール**の導入など、地域内外の人との交流事業が広がっている。

まちづくりは、ひとづくり。面白い人たちが集まり地域を創る。



人財育成を軸とした官民協働のまちづくり ～日本一 人を育てるまち～

高畠町は人口減少が進み、2024年に消滅可能性自治体に追加されました。町は行政主導のまちづくりに限界を感じ、町民、企業、行政が協力する新たなアプローチを進めています。「官民協働のまちづくりプラットフォーム」の組織化を見据え、地域課題解決のための起業・創業支援、県外生との交流による小中高連携による町教育の魅力化、子育て支援の3つのプロジェクトを先行的に立ち上げ、官民協働による持続可能なまちづくりを目指しています。

課題
や現状



解決策や
アイデア



取組状況
や成果

- 複雑化する地域課題。行政依存。情報共有や協働を促す町内規模のプラットフォームがない（取組①）
- 経営者の高齢化、後継者不足、既存の仕組みでは他分野連携が起こりにくい（取組②）
- 地域の魅力を知らずに若者が域外に流出、出生率も年々減少し年間100人を切る（取組③）
- 核家族化が加速化し地域内の連携が希薄に。子育てが孤独なものになる危険性が高まる（取組④）

- 行政主導から官民協働のまちづくりへ。プラットフォーム組織化へ。（取組①）
- 地域社会・産業を牽引する次世代リーダー経営人財の育成事業（取組②）
- 県外生との交流や大学との連携による高畠町ならではの教育の確立と魅力化（取組③）
- 地域社会全体で子育てを応援する環境と機運の醸成（取組④）

- 官民協働のまちづくりプラットフォームの設置により、地域課題・資源の共有化（取組①）
- 町内企業、まちづくりに関わる各団体（商工会、観光協会等）の幹部の若返り化（取組②）
- 地域の魅力の再発見、地域愛の醸成、地方の教育機会較差の解消（取組③）
- 子育て世代を支援するネットワークの構築、子育て世代のライフパフォーマンスの向上（取組④）

デュアルスクール（小中学生）、地域みらい留学（高校生）、地域スタディーツアー（大学生）の実施で、高畠ならではの学びに共感した県外生が町に来ることで、地域の子どもの交流が生まれ、そのことで互いが地域（自分のまち）の魅力の再発見につながる。学年、地域を超えて、町にある暮らしに触れ、「未来の風景」が変わっていく。まちの全てが学びのコンテンツ。

高畠町ではデュアルスクールを実施しています。これは都市圏に住む子どもたちが転校手続きをとりながら、地元の学校に通学できる制度で、株式会社あけふ（農業系の専門学校）の教習員様となっています。町では女性人口を増やし、最終的には転住者を増加につなげることを目的に令和5年度から受け入れを実施しています。

「デュアルスクール」に県北では高畠町が初の実施となりました。現在、二井宿小学校と田中小学校の2校で受け入れを行っています。令和5年度は1家族、令和6年度は2家族の受け入れを実施し、計7家族21人の子どもが来町いたしました。

受け入れる側の子どもたちは、新しい人間関係づくりへの挑戦や、地方と都市の違いや町の良さを再発見する機会を得ることができました。また、デュアルスクール参加の親子が地産地消に参加交流することで、町の良さを伝えていただき、高畠のファンになっていただくことができました。

デュアルスクール事業を通じて、関係人口の増加や地域活性化を促し、移住者の増加へつなげていくことが期待されます。

新しい学校のかたち
高畠町デュアルスクール

「のべ子デュアルスクール」

雪遊び楽しー！

今日からよろしくおねがいします！

前日は調整しました...

自然音がでる音！

みんなで農作業！

みんなで農作業！

まだ「開校しに」来ます！

まだお出迎えに「来ようね！」

株式会社あけふのホームページをぜひご覧ください

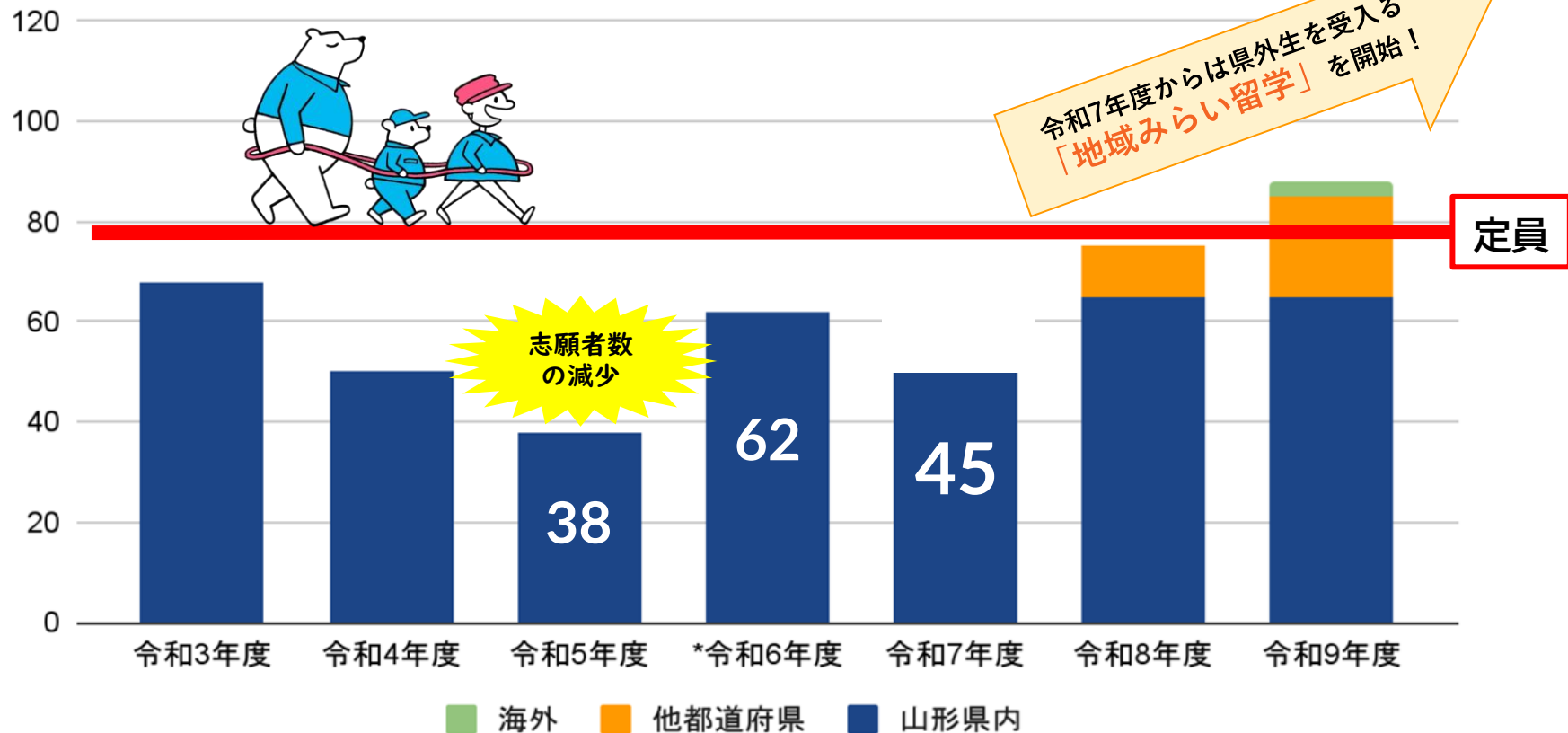
ずあつくたよー！いっぱい食べようぞ

今後も学校や、地域のみさんにご協力いただきながら、デュアルスクールを継続していく予定です。詳細は町公式ホームページをご覧ください。

▲HPはこちら



高畠高校志願者数



県立高畠高校高畠ゼミ × 東京大学FS で取り組む課題

県外生へ「高畠ならではの学び」の魅力を伝える！



1. まちの教育事業への参加（現地活動）

※地域とつながる学び場創出事業（学校外活動）

※市内の小中高生の連携強化

2. 総合的な探求の学習の時間を活用し、 まちの広報紙や公式SNSで情報発信！

①広報やSNSに載せる内容の選定

②魅力の伝え方を一緒に考える

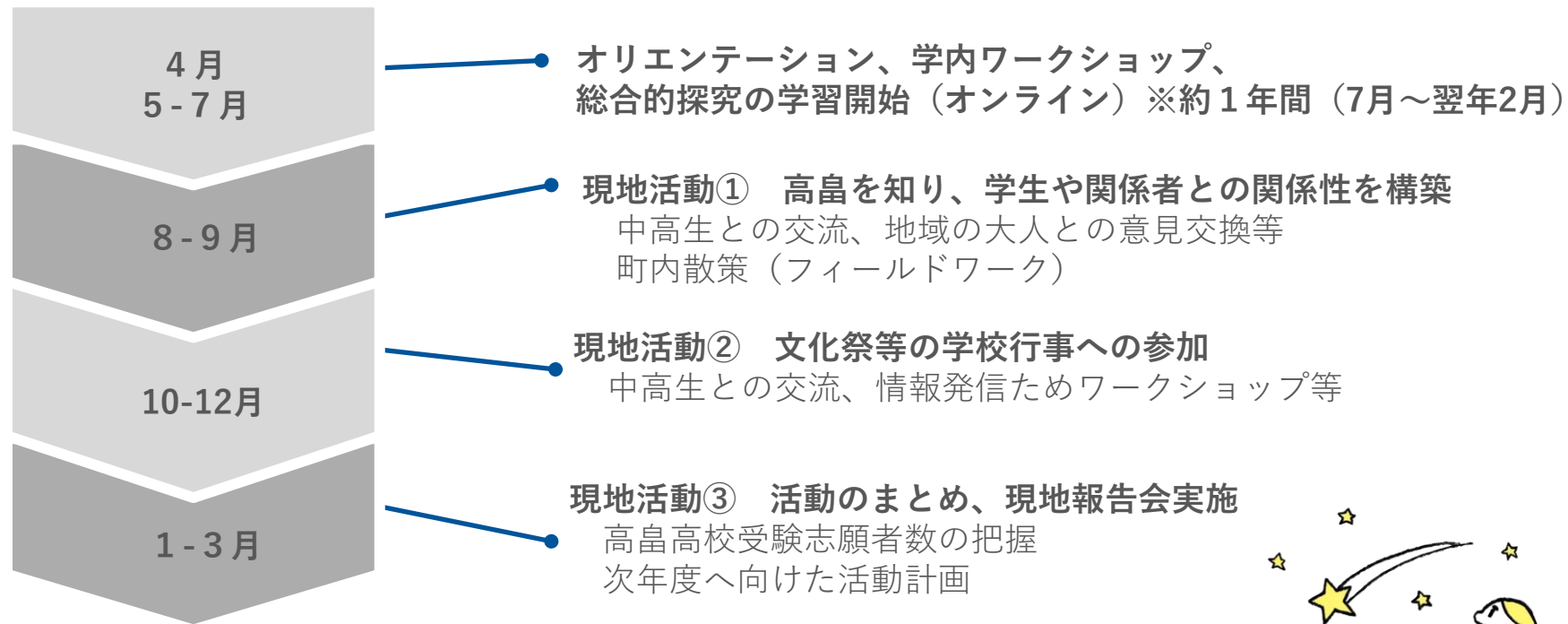
**【注】毎週木曜 14:25-15:15（50分）オンライン授業
現地の高校生と繋ぎ、伴走支援を行います。**

※但し、大学の授業がある場合は、授業優先となります。

高畠高校の町内外、県外の志願者数を増やす！



2025年度東大FS 事業スケジュール（予定）



※関係者（役場、学校、学生）合同定例MTGは、月1程度で開催
※関係者間の連絡は、LINEグループやGoogleチャットを使用する
担当：高畠町企画課 地域活力共創係 鈴木、岡崎

